ICTを活用した先進的な教育旅行

旅行各社で取り組み進む

ICTの進展で学校の教育旅行も変わりつつある。主に班別自主研修や事前・事後学習でパソコンやタブレット、スマートフォンなどを用いた新たな取り組みを旅行各社が進めているからだ。大手4社によるICTを活用した先進的な教育旅行をレポートする。

学びを分かりやすく、より深く

JTB「JTB―JUST」

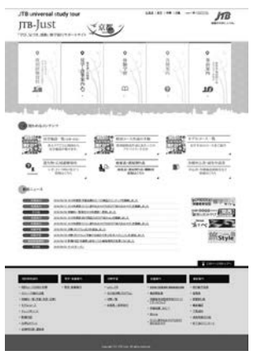
JTBは、ICTを活用した新たな教育旅行の取り組みに力を入れている。「新学習指導要領や授業でのタブレット導入など教室での学びが変わっているなか、教育旅行も変える必要がある。テクノロジーを利用し、より分かりやすく、より深い学習につながるプログラムなどを開発している。また、教育旅行では人生に影響のある体験や活動を行うので、それをきちんと記録に残し、『学びの履歴としての旅行』に教育旅行の価値を変えたい」と同社。

現在、「班別自主研修を変える！プロジェクト」を進めている。班に「協働学習」と、その記載が他の班の生徒や先生とリアルタイムで共有されるというものだ。例えば、同じ見学先で他の生徒が何に気づいたかを知ることや離れた場所にいる先生が記入したコメントを読むことで、自分の考えが広がり、競争意識や好奇心が刺激される。

チェックポイントで撮った写真を記録できる機能を付加し、スマホやタブレットでそれを読み取って学んでいく。

JTBが取り扱うすべての学校に対しては、修学旅行サポートサイト「JTB―JUST」を利用できるようにしている。同サイトは行き先別に北海道版、東京版、京都版、沖縄版の全国主要4地域をラインアップ。モデルコースやチェックポイント、駅構内図、見学・食事案内「るるぶ情報」、体験施設一覧など各種旅行情報や、班別行動予定表、電車・バス等座席割などの各種書面を無料で入手できる。

「コラボノート for School Trip」のパンフレット



JTB―JUST京都版のトップページ（左）とチェックポイント用ページ

トをもとに壁新聞やホームページを作成できる機能も備えている。

VR（バーチャルリアリティ）を活用した学習にも取り組む。「寺子屋シアター」は、緻密に再現されたVRを使って大仏の見学ポイントを紹介。肉眼では見えない線刻画や、実際には見られないアングルも確認できる。

今秋から提供する予定の新しい地域学習アプリが「マチアルキ」。AR（拡張現実）技術を活用して、寺社や史跡、施設などの現実空間にデジタル情報を付加し、スマホやタブレットでそれを読み取って学んでいく。

出発前から帰着後まで課題解決

日本旅行「E²なび」

日本旅行はICTを活用した教育旅行の総合管理システム「E²なび」（いーなび）を開発した。2013年9月の運用開始からおよそ3年半で、主に中、高等学校など、延べ850の学校に利用されている。教員の教育旅行に関わる作業負担の軽減や、生徒の安全管理、学習支援など、さまざまな機能を持ち、ユーザーの学校から好評だ。

大きく分けて六つの機能がある。まず、生徒、学生向けには、簡単なパソコン操作で修学旅行先の観光地や観光施設、宿、交通機関などの情報を入手できる「調べ学習機能」。生徒らの事前学習を効果的にサポートする。

また、画面上の地図を活用して、簡単に班別行動などの行程表を作成できる「行程作成機能」。バスや列車の発車、到着時間も検索でき、常に最新の情報に更新されるため、間違いのないスケジュール作成ができ幅に軽減する。

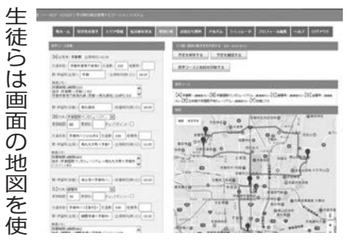
「安全管理機能」は、スマートフォンのアプリを旅行中に利用することで、GPSを利用しての、生徒らの位置確認が行える。また教員と生徒らの、ウェブ上でのリアルタイムのコミュニケーションが行える。生徒らが班別行動で道に迷った際の正しい経路案内や、地震など緊急時の避難場所までのナビゲーションも行う。

保護者向けには、修学旅行のスケジュールや、生徒らの旅行先の活動状況をリアルタイムで公開する「保護者向け機能」がある。旅先で撮った写真を公開し、保護者に確認してもらうほか、学校への到着時間の変更などの情報伝達にも役立つ。

「事前学習や行程作成などの『出発前』、安全管理などの『旅行中』、アルバム作成などの『帰着後』の、修学旅行に関わる全てをワンストップでソリューションするシステム」と、日本旅行団体推進本部教育旅行部の大鹿和彦マネージャー。出発前のみ、修学旅行中のみをフォローするシステムは他社にあるものの、三つのシーン全てを網羅したシステムは日本旅行のみという。

修学旅行の受注に関して「受注の決定要因は多岐にわたるが、E²なびの提案が〝最後のプッシュ〟になったとの現場の声がある」と大鹿マネージャー。同社の昨年1年間の国内教育旅行販売は3・7％増と前年を上回っているが、「E²なびの存在が間違いなくアップの要因だといえる」という。

E²なびのトップ画面。「学校／先生」「生徒」「保護者」の三つの入り口がある



生徒らは画面の地図を使い、班別行動の計画を容易に作成できる

大鹿マネージャー

班別研修をリアルタイムに把握

東武トップツアーズ「マルチサポートプラン」

東武トップツアーズが修学旅行向けに提案しているのは「修学旅行マルチサポートプラン」。これまでプラン内容は「エマージェンシーサービス」（旅行中の安全対策・危機管理）のみだったが、今年から「事前学習サービス」と「ブログサービス」を追加し、さらに充実を図った。学校側は必要なサービスを選択して利用できる。

生徒にはスマートフォンを、先生にはタブレットを貸し出す。通話は身体、生命にかかわる緊急時のみに限定し、その他の通話では利用できない。

安全対策では、スマホのGPSを利用した学生からは「学校で事前学習したお寺を実際に見学しながら、タッチペンで説明が聞けて勉強になった」「行けなかったお寺の音声ガイドも聞けて参考になった」との声が聞かれ、修学旅行の参加の際の利用のほか、事前学習のコース検討の際にも活用できる。

先生用タブレットの班別位置情報を表示する画面

生徒用スマホの緊急時対応画面

危機管理では、修学旅行中の緊急災害発生時にナビゲーションアプリが生徒を安全な場所へ誘導してくれる。災害時緊急連絡機能で各種データはダウンロードして利用できる。旅行会社の営業担当から先生へ、先生から生徒、保護者へのメッセージボックスとして利用できる「コミュニケーション機能」も備えており、連絡ミスを防げる。

ブログサービスでは、修学旅行中の生徒の写真をポータルサイトに掲載。保護者がパソコンやスマートフォンで修学旅行の様子を確認したり、旅行帰着後の資料として利用できる。生徒の投稿に対しては、先生が内容を確認してから公開できるので安心だ。

マルチサポートプラン利用の学校には専用のポータルサイトを開設し、旅行日程や宿泊施設などの情報を掲載する。ログインにはIDとパスワードが必要だ。

新サービスは現在、セールス中だが、「今後は、より学習効果の高い取り組みが求められる。ただの物見遊山的な見学にならないようアクティブラーニングを意識していきたい」といった学校側の考えから、学校の関心が高いという。

同社の教育旅行担当者は「歴史文化、平和学習、震災学習、キャリア教育、国際交流、安全安心、民泊交流体験など、教育旅行に求められるニーズは、時代の変遷の中で目まぐるしく変化していく」と教育旅行市場を分析。マルチサポートプランについて「何が最も重視されるのか、将来の動きを予測し、先生や教育の現場での要望を意識しながら、開発、提案を推進していきたい」とさらなる改善に意欲を見せている。

ペンでタッチするだけで音声ガイドが聞ける

近畿日本ツーリスト「音声ガイド　タッチペン」

近畿日本ツーリスト（近ツー）は、最新のICT機器を導入した修学旅行として、京都、奈良を訪れた際に、班別行動で単なる見学だけでなく、専用の地図にペンでかざすことで音声による案内を受けることができる「音声ガイドペン」のレンタルを提供する。

音声ガイド　タッチペンはペン型のデバイスで、専用の地図に掲載されている掲載場所をペン先でかざすだけで、その場所の説明を内蔵スピーカーから聞くことができる音声ペン。

近ツーのオリジナル地図。

近ツー教育旅行部の中村充専任課長は「修学旅行先では班別行動が多くなり、特に京都、奈良の人気の観光地では、ボランティアガイドの確保が難しく十分な説明が受けられない」と課題を挙げ、「ただ見るだけでなく、聞いて学ぶことでより印象が深くなり、高い学習効果が期待できる」とタッチペンを活用するメリットを述べた。

また、奈良・東大寺の地図には外国人留学生からの要望に応え、英語、中国語との3カ国語対応となっている。

このほか、近ツーではパソコンを利用してプログラミングを体験する、アプリ開発体験プログラム「Life is Tech!」を東京、大阪で修学旅行を対象に提供する。

Life is Tech!では、iphoneアプリ開発コース、ゲームクリエイターコース、WEBデザインコース、映像編集コースの計4コースから実施内容を選択できる。iphoneアプリ開発コースでは、文字や背景などのプログラムを作成し、時計アプリの作成などオリジナルのアプリが作成できる。

近ツーは、修学旅行に最新のICT機器を取り入れ、便利に学習できる取り組みを実施し、これからの時代に求められる能力を育成する教育旅行プログラムを提案していく。

パソコンでプログラムを作成しアプリ開発を体験

大自然と笑顔の町南会津へ。
笑顔と笑顔が出会う、温かい感動の物語。
南会津町ぼくらの農村感動体験

「農家民泊」
数人のグループで農家に宿泊。農作業に限らず料理作りなど生活全般の手伝いをしながら交流を深めます。受け入れにあたっての安全対策も万全です。

「ラフティング体験」
南会津町には透明度が高い川がたくさんあり、都会の人はまず、その川を見て驚きます。自然を思う存分に生かしたラフティング体験を、ぜひ！

福島県南会津農村生活体験推進協議会
事務局　みなみやま観光株式会社
〒967-0004 福島県南会津郡南会津町田島字後町甲3973-1 FAX 0241-62-7788　E-mail contact@minamiyama1.info
TEL 0241-62-2250 http://www.minamiaizu.co.jp/

JTBのキャリア教育プログラム
JTB 感動のそばに、いつも。
学校でも旅先でも実施可能！
Career Axis Support PROGRAM
アクティブラーニング型授業

キャリア開発Ⅰ

自己理解
1. ワークブックによる自己診断
2. 学生の就職活動のムービー視聴
3. グループワーク・発表
4. 自分の「Career Axis」を考える

キャリア開発Ⅱ

パネルディスカッション
1.「イキイキ働く社会人」とのパネルディスカッション
2.「Creer Axis」は何かを知る
3. 質疑応答
4. 振り返りと、自己との比較

キャリア開発Ⅲ

発展学習
学校の特色を生かしたコースを選択いただけます。
■「未来を見据えて自分の強み発見」
■「女性の明日を生きる道」
■「グローバルビジネスとグローバル人材」

◆その他プログラムラインナップ　各プログラム、ご要望によりアレンジいたします。
TPCプログラム（PBL型授業）
チームワーク体験プログラム（30秒動画製作）
松下政経塾で学ぶ（志探求プログラム）
主権者教育プログラム
ジョブ tavi（社会人訪問）
イキイキ社会人との交流会

【お問い合わせ】　株式会社ジェイティービー キャリア教育事業室　TEL:03-5796-5655　Mail:career-ed@hd.jtb.jp